

URANOのパーパス・存在意義

「最高の技術」には4つの意味合いがあります。

- ①ウラノが常に追い求める、その時の最高の技術。
- ②お客様にとって、自分たちの期待に応えてくれる最高の技術。
- ③製品を使うことになる世界の全ての人にとって、価値のある最高の技術。
- ④原点であり今なお中心である「削る」最高の技術。

お客様を思いやることだけにとどまらず、社員同士が思いやるウラノの風土。グローバル化を進め、ウラノの仲間を集める採用活動においても、SDGsの考えとマインド、つまり「思いやり」を大切にしている企業として認知を図っています。

創業から掲げる「自立共存」の姿勢がバックボーンになっています。

最高の技術と思いやりで

世界中に「安全」と「安心」をつくり届ける。

ウラノの製品に対するグローバルな引き合いと、製品が実際に活躍するシーンの幅広さ(宇宙から海の中まで)を表しています。社員と地域に会社の利益を還元します。ウラノがあり続けることで、社員の個々の世界(暮らし・家族)を守ります。

ウラノの製品が行き着く先で生み出すのは、安全・安心という価値。新規事業のURANIWAでは「ものづくりの会社の食べものづくり」に取り組み、食を通して安全・安心を広げています。

ウラノで働く社員の心と体の安全・安心も守ります。

ウラノは「創造できる」集団。ニーズを満たす製品をつくるだけでなく、ないものは自分たちで創り出すマインド。

社内報のタイトル「Future Creation」にもあらわれた、ものづくりとしての原点と想いを表しています。

受け取る相手、使う相手をイメージできるように「届ける」という言葉を採用しています。